

# 『STAND UP! フロム泡沫』

作 阿野 一人

## 登場人物

江田 (37) 若手政治家。無所属新人。  
結衣 (25) 選挙ボランティア。江田の恋人。  
南野 (44) 野党議員。選挙対策委員長。  
徳永 (23) 選挙ボランティア。地主の次男。  
大坪 (43) 結衣の父。

## 第一場

舞台上には事務用の長机と粗末な椅子が数脚。長机には片目しか入っていないダルマ。  
選挙特番の音声聞こえる。

結衣が長机に突っ伏して寝ている。江田がテレビを見ている

江田 ……

江田、リモコンでテレビを切る。選挙特番の音声が消える。間。

結衣 観てんのに！

結衣、すぐまた寝る。

江田、結衣にジャンパーをかけてやる。

結衣の肘の絆創膏に気づく。

南野が現れる。

南野 江田君、お疲れ様

江田 南野先生！

南野 惜しかったね

江田 いえ、情けない結果に終わってしまったって

南野 何言ってるんだ。大健闘じゃないか。

江田 でも、

南野 君は無所属の泡沫候補だぞ？ それで現職をここまで追い詰めた。立派だよ。

江田 ですが、皆さんの期待に応えられず

南野 なあに。次で応えればいいんだよ

江田 四年後、ですか

南野 いや。来年、だよ。

江田 ！？

南野 我々、令和国民立憲生活社会民主労働党は、来年の衆議院選挙で江田君を公認するつもりだ。え、令和国民社会生活労働党（間違えてればなんでも可）がですか！？

南野 違う。令和国民立憲生活社会民主労働党がだ。

江田 すいません。令和社会主義……

南野 違う！

江田 ああ、令和国民……

南野 いいよもう！ とにかく公認するから。この敗戦を糧として、再び立ち上がってくれたまえ！

江田 はい！ ありがとうございます！

南野 ただし…… 一つ条件がある。

江田 なんてでしょうか？ 社会のために戦えるなら、なんでも！

南野 （結衣を指して）彼女と、別れなさい。

江田 ……なんですか

南野 残念だけれど。イメージが悪い。ボランティアの女の子に手を出すってのは

江田 手を出す、って！ いいじゃないですか真面目に付き合ってるんだから

南野 真面目に？ こそこそ隠れて付き合ってるのに？

江田 それは、他の方の目もあるし

南野 ほら、後ろめたいんじゃないか

江田 じゃなくて、みんな選挙で一丸となってくれてるのに、ってことですよ！ もう隠しません

南野 し、なんなら結婚しようと思ってます！

南野 結婚？ 冗談じゃないよ君！

江田 なんてですか！

南野 彼女まだ二十歳やそこらだろう！ 君いくつだ！ もうすぐ四十だろう！

江田 いいじゃないですか！

南野 イメージだよイメージ！ 20歳も離れてたら、国民はキモいと感じる、と言ってるんだ！

江田 キモいってなんですか。「普通の」夫婦と違うからですか？ 先生がそんな保守党みたいな

こと言うなんて…… そんな常識ぶっ壊して、多様性を認め合う社会をつくるってのが令

和国民立憲……立憲社会……立憲生活社会民主

社会民主労働党

江田 （かぶせて）労働党！ の目指すものなんじゃないんですか！

南野 そのとおりだよ？ でもな、江田君。

江田 なんです

南野 君は、その新しい社会の恩恵をただ受け取る人じゃないだろう？

江田 ？

入口に徳永が現れて、様子を見ている

南野 君は、新しい社会を創る人だ。築き上げる人だ。だから政治家になる。違うかな？

江田 もちろんです。僕はこの手で社会を変えるために

南野 だったら、覚悟を持ちたまえ！ 痛みを引き受ける覚悟を！

江田 え

南野 君が尊敬する徳川家康も、坂本龍馬も、妻子を捨て、故郷を捨てて新しい世の中をつくった。ちがうか？

江田 いやでも時代が、

南野 いつの時代でも！ それが使命に生きる人間の宿命なんだよ江田君！

徳永 そうですよ！

江田、南野、驚く

## 第二場

徳永 やっぱ江田さんはカッコいいですよ！ すごい人なんですよ！ こんなところで終っ

ちゃだめです！

江田 おお、徳永くん、どうしたの。みんなは？

徳永 何人かまだ飲んでます。僕は…… ここ片づけに。

江田 そっか。ありがとう。後援会長は？

徳永 ……真っ先に帰りました。江田はもうダメだって

江田 ……そっか

徳永 みんな酷いんですよ。こんなに頑張ってたのに、負けたとたん。江田は器じゃなかった、

とか、所詮泡沫だ、とか

江田 ……

徳永 経歴が弱い、とか、女とイチャイチャしてるからだ、とか。俺、なんかあの場にいるのキツくて

江田 徳永くん……

徳永 でも、期待していいんですよ！？ 次は絶対勝ちますよね！？

南野 もちろんだよ。我々が応援するんだから！。

徳永 ですよ！ おじさんありがとう！

江田 おじさんじゃなくて、南野先生。労働党の、選挙対策委員長の

南野 はじめましてじゃないんだけどね

江田 応援演説にも来てくれたでしょ、ほら、大雨の日の

徳永 あ！ 思い出しました！ すごい偉い人！

南野 偉いわけじゃないけど、党の中心でやらせてもらってるよ！

徳永 そんな偉い人が…… ありがとうございます。わざわざ片づけを手伝いに

江田 違うよ！

徳永 え？

南野 来年の衆議院選挙に、江田君に立って欲しいと思ってね

徳永 衆議院？ 国会議員！？

南野 そう

徳永 上げえ！ 江田さんすごいじゃないですか！

南野 そうなんだけどね、江田君本人はちよっと迷ってるみたいで

徳永 なんで迷うんですか！

江田 いや、あのね

徳永 迷うことなんてないでしょう！ いつかは国会議員って言ってたじゃないですか！

江田 そうだけど、条件が

徳永 条件なんてなんとかしてくださいよ！ 僕らは、江田さんに賭けてるんですよ！ 江田さんがビッグになってくれないと困ります！

南野 ここまで言ってくれる支持者がいるんだ。条件を飲んでくれないか。

江田 飲めせんって。自分一人の問題じゃないし

南野 結局君は、自分が悪者になりたくないだけじゃないのか？ 清濁併せのむ気概がないと、政治家なんて務まらんぞ

徳永 そうですよ。覚悟を見せてくださいよ。条件ってなんなんですか？

江田 ……結衣と別れろって

徳永 そんなことできるわけじゃないじゃないですか  
え？

南野

徳永 先生なに考えてるんですか。なんでそんなことが条件になるんですか。

南野 それは、その、選挙で勝つためには

徳永 勝つためにはなんでもするんですか。労働党ってそういうところなんですか？

南野 しかし政治の世界ってというのは

徳永 結衣ちゃんがかわいそうだとは思わないんですか？

南野 いや、思うけどね

徳永 じゃあなんでそんなこと言うんですか

南野 だって、現にマイナスイメージが

徳永 そんなの関係ないんですよ！ あんな健気な女の子を泣かせて、何が政治家ですか偉そうに！

南野 それは理想論だよ。国家の舵をとるってことは、一人の幸福を犠牲にしても……じゃなくて、後回しにしても、多数の人間が幸せになるための決断をするということだ。

徳永 そんな奴なら僕は応援したくない！

江田 まあまあまあ、あの、とりあえず、今すぐにお返事できることではないので、お時間をいただければと思います。

南野 ……別れる選択もあり得るということかな？

徳永 そうなんですか江田さん！？

江田　まずは、本人にも話してみます。

徳永　結衣ちゃんに身を引けって言うんですか!?

江田　俺だけの問題じゃないってことだよ！　お恥ずかしい話ですが、選挙資金のかなりの部分も、結衣のご実家に頼ってて。

南野　ああ……

江田　別れるとなると、そのへんのお金の話も綺麗にしておかないとお金って

徳永　そんな必要ないですよ

結衣　！？

江田　お金なんて、返さなくていいです。騒ぐつもりもないです。

結衣　結衣、いつから……？

南野　南野先生、別れば解決なんですよね？

結衣　え？　ええ、まあ。

南野　そしたら江田さんは国会議員になれるんですよ

南野　もちろん。我が党が全力でサポートするよ。

結衣　そしたら、私たちが目指してるような社会になるんですよ

南野　なる。実現して見せる。

結衣　じゃあ、私は身を引きます。

江田　ちよつと待って、俺は別れたくないよ

結衣　なに？　議員になりたくないの？

江田　なりたいけど

結衣　じゃあいいじゃない

江田　けど、俺は、結衣のことが好きなんだよ。本気で好きなんだよ

結衣　そんなこと関係ないでしょ！

江田　どうして？　結衣は？　結衣の気持ちは？

結衣　……なんでそんなこと聞くの？

江田　……え？

結衣　……そんなの、決まってるじゃん

江田　……

結衣　……別に好きじゃないよ！

江田　……

結衣　私が好きなのは、自分よりみんなの幸せを優先できる人。だから、今の江田さんは好きじゃない！　せっかくみんなのために働くチャンスを掴みかけてるのに、一時の感情のために手放すような人は、好きじゃない。

江田　結衣……

結衣　好き……じゃない……

南野　健気だ……わぎとらしいくらいに

徳永 いい子なんです

結衣 南野先生、江田さんをよろしく願います。

南野 わかった。よく決断してくれたね

結衣 いえ。隠していた私も悪いですから。

南野 いや、まあ、隠せてたかはアレだけど

結衣 江田さん、今まで隠しててごめんなさい。嫌われたくなくて、言えなくて……

江田 ん？

南野 何の話？

結衣 でも、それでも私のことを好きって言うてくれて、嬉しかった……

江田 それでも？

結衣 私は、それだけで十分。

徳永 え、待って。本当に別れちゃうの？ それで本当にいいの？

結衣 いいの。仕方ないから

徳永 でも

南野 徳永くん

徳永 江田さんもいいんですか、こんなの理不尽じゃないですか

江田 俺だって、別れたくないよ。

徳永 だったら！

江田 でも、甘かったのかもしれない

徳永 そんな

江田 結衣、ありがとう。背中を押してくれて

結衣 ううん。いい国を、つくってね

徳永 ……納得いかないです

南野 まあ、本人が決めたことなんだから

徳永 俺が応援してる江田さんは、優しく、思いやりがあって、一人ひとりの幸せを、心から願える人です！ それが政治家として甘いついていうなら、政治家になんてなって欲しくありません。

江田 でもな、

徳永 わかっています。ちょっと頭冷やしてきます

徳永、出ていく

## 第三場

南野 大丈夫かな……

江田 大丈夫、だと思えます

南野 ……そしたら結衣さん、江田君を支援してたお金のことなんだけど

結衣 あ、それは本当にいいですから

南野 そうはいかないんだ。党としても曖昧なままにはしておけないし  
結衣 でも  
南野 それに、ご家族のお金でしょう。結衣さんだけが納得してても  
結衣 あ、違うんです。  
南野 ?  
結衣 あれ、私のお金です。  
江田 ええ?  
結衣 ごめんなさい、嘘ついてて  
江田 え、だって、三百万以上も  
南野 そんなに?  
結衣 私のお金だから、実家は関係ないから、大丈夫です  
南野 いやいやいや、それはそれでよくないよ。三百万なんてそんな大金  
結衣 大丈夫です！ それくらいすぐ稼げますから！  
江田 ええ?  
南野 どうやって!? こんな若い女性が  
結衣 やだ、若い女の子だからすぐなんじゃないですか  
南野 ?  
結衣 わたし、ナンバーワンなんですよ！ 三百万なんて二か月もあれば  
南野 ナンバーワン?  
結衣 そうです！ あ、やだ先生、そんな意外そうな顔するのは失礼ですよ！  
南野 (小声で) 江田君、どういうことかな?  
江田 (小声で) 僕にもさっぱり  
結衣 ナンバーワンには、実はセクシーさんなんて求められないんです  
南野 (小声で) まさか夜の仕事をさせてないだろうね?  
江田 (小声で) まさか。そんなわけ  
結衣 まず大事なのがホスピタリティ  
南野 (小声で) 夜の仕事じゃないか!  
江田 (小声で) 夜はうちにいましたから!  
結衣 なにより、風俗の仕事を楽しんでいることです!  
南野 風俗?  
結衣 風俗。  
江田 ……  
南野 江田君！ 何を考えてるんだ君は！  
江田 ええ?  
南野 支援者の女性を風俗で働かせるなんて前代未聞だぞ！  
江田 いやいやいやいや知らなかったですよ僕だって！  
南野 冗談じゃないぞ君！  
結衣 江田さんは悪くないんです！ 私が秘密にしたから！

江田 ほら！

南野 あーもう！

南野、頭を抱える

結衣 絶対嫌われると思ってたから……

江田 そりゃ、まあそりゃ

結衣 だけど、それでも別れたくないって言うてくれて、私ほんとうに嬉しかった、だから  
江田 いやいやいや、今の今まで知らなかったけど

結衣 え？ その話してたでしょ？

江田 え？

結衣 イメージが悪いつてこのことじゃ……？

南野 え？

結衣 違うんですか？ じゃあなんで別れなきゃいけないんですか？

南野 それは、その

江田 あー！ いやいやいやいや、このこと。このこと。

南野 ！？

結衣 ですよね

江田 だから、僕も、別れたくないけど、有権者は残酷だから、仕方ないね  
結衣 うん……応援してるからね

江田 ありがとう。別れても、結衣のことを好きだったのは、本当だから。

南野 いやいや待って待って待てこりゃ別れば済む問題じゃないぞ

結衣 え？

南野 別れたところでなんだ。選挙のために風俗で働かせてた事実が残る

江田 僕はなにもしてないじゃないですか！

南野 そんな言い訳が通るか！

結衣 ですから、私は、きっぱり身を引いて、絶対秘密に

南野 そんなの調べればすぐバレる……私が対立候補ならすぐ調べる……！！

結衣 じゃあ、どうすれば！

南野 ……別れなくていいんじゃないかな？

江田 ええ！？

南野 うん、別れないほうがいい。浪人時代を苦勞して支えた恋人だ。公認をもらうために捨てる  
って方がイメージが悪い！

結衣 本当ですか！？

南野 うん！ 別れる必要ないよ！ よかったね！

結衣 はい！

江田 ちょ、ちょっと待ってください、僕たち別れないんですか？

南野 うん。よかったね。

江田 よかつ……た……？

南野 なに。別りたいの

結衣 ！？

江田 それ、そんなわけじゃないですか

南野 いっそのこと結婚までしちゃった方が、ダメージが少ないかもな

江田 結婚！？

南野 そうしよう。公認の条件は、結婚。これだ。

江田 いやいやいやいや待ってください

南野 したかったんだろう？ ちょうどいいじゃないか。

江田 いや、でも、ほら、それこそイメージが

南野 幸い、我が党は性産業についても、合法化して法の管理の下で搾取と差別を無くしてく方針だ。性産業従事者を配偶者に持つ議員。いいじゃないか。差別を無くしていく第一歩だよ。

結衣 本当に、いいんですか？

南野 もちろん。我が党は女性の自己決定権を尊重するからね。あなたが選んだ仕事なら、恥じることはない。

結衣 ありがとうございます。

南野 うん。でもね、結衣さんも覚悟するんだよ。江田君と結婚するということは、君が性産業従事者だということがいつか暴かれてしまうということだ。そういう好奇の目に晒されてしまうということだ。

江田 それ、そうですよ！ やっぱり結婚は、辞めておいた方がいいんじゃないかなー！ 結衣をそんな目に合わせるなんて、僕にはとてもできないなー、結衣のためを思うと

結衣 大丈夫です！

江田 えー！

結衣 私、この仕事を誇りに思ってますから！

南野 そうか！

江田 誇るまでいっちゃおう？

結衣 そりゃね、最初は騙されてるんじゃないかとか、もう普通の恋はできないかもなとか思ってたよ。けど、南野先生に出会って

南野 わたし？

結衣 はい。南野先生が新宿で演説してて。性産業も立派な仕事です、歌舞伎町のみなさんも仲間です！ って。私なんか感動しちゃって。

南野 ああ、あれか

結衣 だから、変な目で見られても大丈夫です！ 江田さんと南野さんを信じてます。いつか社会を変えてくれるって！

江田 待って待って待って、そんなに簡単なことじゃないでしょ

結衣 大丈夫！ 江田さんがいてくれればどんなことも耐えられる！

江田 いやいやいやだけだね、ほら、ご家族とかも困るだろうし

結衣 あんな家族もういらない！ 江田さんがいてくれればいい！

江田 いや、そうは言っても  
南野 なんだ江田君さつきから。  
江田 だってちよっと話が急すぎて。別れろって言ったり結婚しろって言ったり  
南野 いいじゃないか結婚。したいんでしょ？  
江田 ……  
南野 ……したくないの？  
結衣 え……？  
南野 なんだ君は！ 結局最初から遊びだったのか！  
結衣 ひどい！  
江田 違いますよ！  
南野 そうじゃないか！ さんざん助けてもらって！ けど結婚はしたくない！  
江田 違いますって！  
南野 じゃあなんなんだ！  
江田 だって……風俗ですよ！ 普通嫌でしょう！  
結衣 ……！！  
南野 君ね、自分のために働いてくれた子によくそんなことを  
江田 だって！  
結衣 さつきはそれでも好きだって  
江田 ごめんて！ でも知らなかったから！ さつきは！

## 第四場

徳永と大坪が入ってくる

大坪 結衣！  
結衣 父ちゃん！  
江田 ……父ちゃん？  
徳永 こちら、結衣ちゃんのパパだそうです  
大坪 ……結衣がお世話になってます。結衣の父です。  
結衣 何しに来たの  
大坪 何しにて。どんだけ探したと思ってんだ  
徳永 探す？  
大坪 お恥ずかしい話ですが、結衣は7年前に家出したつきりで  
江田 家出！？  
大坪 でも今日テレビ見てたら、ちらっと結衣が映った気がして  
徳永 あ、選挙速報  
大坪 はい。それで車飛ばして。  
江田 家出少女だったんだ……

結衣 違うし。大人だから

大坪 江田さん、本当にありがとうございます。こんな立派な先生のところで働かせてもらえて、安心しました

江田 はあ

大坪 バカな娘なんで、俺らもう心配で心配で。ご迷惑おかけしました

結衣 迷惑なんてかけてないし！

大坪 いいから、帰るぞ！

結衣 嫌だ！ 絶対帰らない

大坪 わがまま言うなこの！

徳永 まあまあ、あの、急に帰るとかなくても

大坪 突然出てったのはこいつですから

徳永 そうかもしれないですけどね、まずは

大坪 どんだけ心配したか！

徳永 そうですよね！ わあ、見つかってよかった！

結衣 よくない！ なんで帰らなきゃいけないの！

大坪 なんだとこの

結衣 やつと自由になれたのに

大坪 なにが自由だこのバカ娘！

南野 いい加減にしましょうお父さん！

大坪 なんですかあなたは

南野 令和国民立憲生活社会民主労働党選挙対策委員長の南野です

大坪 ああ

南野 ご家庭でなにがあったかは存じ上げませんが、結衣さんは成人していて、ご自分の意志でここにいます。お父さんが連れて帰る権利はありません

大坪 なんですか権利って。父親が娘の心配してなにが悪いんですか

南野 心配するのは自由ですが連れて帰る権利はない、と言っています

結衣 自分の世間体の心配でしょ

大坪 なにこら

南野 お父さん！ 無事に東京で生活していた。もう安心じゃないですか。

大坪 安心じゃないですよ！ 家出して東京に7年ですよ！？ 水商売でもしたら一家の恥だ

南野 職業差別はよくないですよ。

大坪 何が差別ですか。これだから労働党は。屁理屈ばかり

南野 違う意見は受け入れたいかもしれませんが

大坪 違う意見じゃなくて間違った意見です。悪いもんは悪いでしょう

南野 今の常識からは悪く見えても

大坪 あなたね、自分の娘が水商売してて、喜ぶ親がどこにいますか！

結衣 ！

南野 喜ぶも悲しむもないんです。

大坪 娘が不幸になっても悲しむなって言うのか！  
南野 水商売は不幸なんですか？  
大坪 不幸でしょう！ まともな男なら相手にしませんよ  
江田 そうですよね！  
結衣 ！  
江田 あ、いや  
南野 そういう考え方こそがお嬢さんを追い詰めるんだ  
大坪 あんたは娘の何を知ってるんですか  
結衣 なんも知らないのは父ちゃんでしょ！  
大坪 何こいたもんだこっちはお前があかんぼの時から  
結衣 ずっと一緒にいたのに何も知らないじゃん！ 私のことも、お母さんのことも！  
大坪 いいから帰るぞ！ こんなとこにいたらおかしくなる  
結衣 やだ！ 絶対かえらない  
大坪 聞き分けねえな！ 地元にいた時はもっと  
結衣 もっとおとなしかった？ 当たり前じゃん言っても無駄なんだから  
大坪 何を  
結衣 意見言えば生意気、勉強したらこざかしい、東京にいくなんてはしたない  
大坪 だってそうだべさ！  
結衣 そうやって私のことバカにしてっから！ 女のことバカにしてっから逃げて来たんでねえ  
か！ 今さら帰るわけねえべ！  
大坪 生意気言うな！ お前みたいなのが一人で生きて行けるわけねえべ！  
結衣 ほらまた馬鹿にした！ 生きていけるし！  
大坪 それは、江田先生のお世話になってるからで、  
結衣 はあ？ お世話になってなんかねえし！ むしろ世話してやってんだし！  
江田 結衣、それは！  
結衣 この家賃も！ ポスター代も！ 全部わたしが払ってるから！ 生活費だって！  
大坪 何いってんだおめ  
結衣 ここにあるもの全部！ 全部わたしが買ったんだから！ この人が偉そうに立候補なんて  
できるのも、全部わたしのお金だから！ 私が身体売って稼いだんだから！  
徳永 ……身体？  
大坪 ……どういふことですか？  
江田 いや、その  
大坪 先生はヒモをやってるんですか？  
江田 ヒモではなく、その  
南野 政治活動の支援をしてくれているんです  
大坪 ヒモじゃないですか！  
南野 彼女の意志です  
大坪 そんなのは関係ない！

結衣 関係あるから！

大坪 騙されてたんだべさ！

結衣 だま……

南野 結果的に、騙されてたとしても、

大坪 ！

南野 それは結衣さんが、自分の責任で選んだことです。自分の責任は自分でとる。当たり前のことじゃないですか？

大坪 あんたね！ 自分の娘が

南野 娘だろうが息子だろうが一緒です。

大坪 あんたら、訴えてやりますからね……

大坪、去ろうとする

徳永 待つてください！

大坪 なんだ今度は！

徳永 江田さんは、悪い人じゃないです。騙すような人じゃないです！

大坪 今さら

徳永 本当に好きだったんです！ 結衣さんのこと

大坪 だったらなんだ！

徳永 だから、江田さんは騙したわけじゃなくて、そりゃ、結果的には別れることを選んだけど、それは、江田さんだって、つらい決断だったはずで

大坪 結局騙して捨てたんでねえか！

徳永 それは南野さんが悪いんです！ 結衣さんはイメージが悪いから別れろって

大坪 なんだと？

南野 徳永くん、その言い方はちょっと

大坪 あんた、散々職業差別だとか言っておきながら、陰ではそんなことを

南野 誤解です。私は江田くんには結衣さんと結婚するように言ったんですが

徳永 うそだ！

南野 うそじゃないよ！

大坪 どっちなんだ！

江田 ……うそです！

南野 おい！

大坪 お前が悪いのか！

徳永 そうです！ この人さえいなければ、結衣さんは幸せでいられたんです！

南野 だから！言い方！

結衣 うそだ！

大坪 どれが！

結衣 南野先生は別れなくていいって言ってくれたの！ けど、江田さんが

南野 そうそうそう、そうです

結衣 江田さんが、結婚はしたくないって  
お前……

大坪 結衣ちゃん、それはよくない！

徳永 なにが！

徳永 身を引くって言ったのは結衣ちゃんじゃないか  
でも、そのあとやっぱり結婚しようってなったのに、江田さんが嫌だって  
そうそうそう

南野 そうそうそう

結衣 風俗嬢とは結婚できないって

徳永 江田さんがそんなこと言うわけない！

結衣 言ったもん！ ふつう嫌だって！

大坪 お前、うちの娘になんてことを

江田 お父さんだってさっき一家の恥って……

徳永 江田さん、誤解ですよ

江田 え？

徳永 誤解ですよ！ そうだって言ってください！

江田 ……うん、そうだよ

結衣 はあ！？

江田 誤解誤解。全然誤解！

徳永 ほら！

江田 さっきはちよつと、なんかちよつとアレで

徳永 ほら！

江田 正直、びっくりしたというか、動揺したというか、それで。

結衣 びっくりってなに

江田 そりゃびっくりするよ。好きな人が、俺を支えるために、風俗で働いてるなんて！ 結衣だ  
って隠してたでしょ？

結衣 隠してたけど

江田 だけど、こんなひどいお父さんから逃げて来たって知って、

大坪 おい

徳永 しー！

江田 自分が、間違ってたな、って。

結衣 江田さん……

江田 だから結衣、結婚しよう。結婚してください。

徳永 いよっ！

結衣 ……

大坪 ……

南野 ……

徳永 (はしゃいだのを恥じて) ……

江田 お義父さん

大坪 お義父さんって呼ぶな！ 年そんな変わるねえぞ！

江田 お見苦しいところをお見せしました。でも、結衣さんのことは絶対に幸せにします。

大坪 ヒモの分際で……

江田 必ず、世の中に必要とされる人間になって、結衣さんから頂いたご恩を、何倍にもしてお返ししますので

大坪 ……

江田 南野先生、未熟で至らない私ですが、どうかこれからもよろしくお願いいたします。来年の衆議院選挙も、結衣と…妻と二人三脚で、全力で戦っていく所存です！

徳永 ……これで、ぜんぶ解決…？ 解決…？

南野 ……

徳永 解決だ！ 結衣ちゃん良かったね！ 江田さん！ 衆院選がんばりましょう！

南野 そんなわけないでしょう。公認なんてしないよ

江田 えー！

南野 なーにいい雰囲気で誤魔化そうとしてんのよ。あんなみつともなく右往左往して、私を悪者にしようとして

江田 それは、その

南野 ごめんなさいね結衣さん、散々引っ掻き回して

結衣 いいんです！ 私ももう結婚する気なんてないですから

江田 え！ なんで！？

結衣 むしろなんで結婚できると思ったの？

江田 だって、結衣なら、許してくれるかなって

結衣 はあ？ きもちわる！

江田 きも……

大坪 ということは、こいつが敵か？ 敵でいいのか？

結衣 うん、なんでもいい。もう関係ない

大坪 よっしゃ！ てめえ訴えてやるからな！ マスコミにも話す！

徳永 待って！ そんなことしたら結衣ちゃんが

結衣 あー、私は大丈夫

大坪 おし、てめえ覚悟しとけよ！

大坪はける

江田 あ！ ちょっと待って！

江田、後を追う

## 第五場

南野 江田くんももう終わりだな……

徳永 そんな言い方しないでください

南野 ……結衣さん、どうだろう。来年の衆議院、君が出てみないか？

結衣 え？

徳永 え？

南野 いいかもしれないな。保守的な父から逃げて、支えてた男には裏切られ、怒りに燃えて戦う女！ いいじゃないか

結衣 でも、わたし、政策とか法律とかよくわからないし

南野 そんなことは期待してないから大丈夫。党が全部決めるから。

結衣 え、じゃあ、何を期待されてるんですか？

南野 イメージだよイメージ！ 巨大な悪と戦ってるってイメージ！

結衣 はあ……

南野 結衣さん、よく見ると綺麗な顔してるし……これくらい華奢なほうが、搾取されてた女って感じがするもんな！ うん！ 勝てる！

結衣 ……

南野 じゃあ、考えといて。まあ、悪いようにはしないから

南野、去る

徳永 選挙って、いろんなことが起こるね

結衣 そうだね……

徳永 片付け、するか……

徳永、椅子などはけはじめる。ゴミをまとめる。

結衣 徳永くんはさ、なにを期待してたの？

徳永 ん？

結衣 江田さんに

徳永 ん、そりゃ、当選して欲しいなーって

結衣 そうじゃなくて。税金安く！ とか、戦争反対、とか、あるじゃん

徳永 あー、その辺は別にないなあ

結衣 は？

徳永 そういうのよくわかんないし。

結衣 なにそれ。じゃあなんで手伝ってたの？

徳永 親父に言われて

結衣 はあ？

徳永 ちなみに兄貴は保守党の方、手伝ってる  
結衣 どういうこと？  
徳永 どっちが受かってても仲良くできるように、って。 あーでも負けたのはやっぱ悔しいなー。  
結衣 絶対兄貴に煽られるー  
徳永 じゃあ、政策が、とか、考え方が、とかはないの？  
結衣 ないよ。  
徳永 ……それであんなに応援できるんだ  
いい人だなーとは思ってたよ。それに、喋ってる時とかめっちゃカッコよかったじゃん。難  
しいこと沢山知ってるし、なんでもビシツと言えるし、なんか堂々としてるし。  
結衣 まあ…いい人、ではあるよね  
徳永 うん。ちよっとさっきは、あれだったけど  
結衣 ……  
徳永 来年は結衣ちゃん手伝うよ！ 国会議員！  
結衣 あー……ね。どうしようかな……  
徳永 え！？ やんないの！？  
結衣 うん、なんか……言い方引っかけたというか。別にわたし怒りに燃えてないし  
徳永 怒ってないの？  
結衣 うん、あきれてる  
徳永 そうか。でもなんかもつたいないなー！ せっかく期待してもらってるのに  
結衣 えー？ あんな期待いらなくない？  
徳永 そう？ 嬉しくない？  
結衣 ええ？ 嬉しいの！？  
徳永 うん。俺あんまり他人に期待されたことないから  
結衣 ああ。そうなんだ……  
徳永 逆になんで嬉しくないの？  
結衣 えー？ だって期待されてもなれないし。怒りに燃える女なんて  
徳永 そんなもんか  
結衣 まーでも将来のキャリアとしては魅力的なんだよなー！ いつまでも風俗嬢やってられな  
いし  
徳永 風俗のお客さんもなんか期待してんじゃないの？  
結衣 なんかって？  
徳永 なんかさういう、優しい女！ みたいな。癒し系、とか。  
結衣 あー。接客楽しんでて欲しい、みたいなのは絶対あるね。  
徳永 へー。それは出来んだ  
結衣 そりゃ、仕事だから  
徳永 ふーん。そんなもんか。  
結衣 ……やるか、議員  
徳永 え、マジで！？

結衣 落ちても顔が売れりゃなんかしら稼げるし！  
徳永 おおー！ インフルエンサー！  
結衣 風俗戻ったとしても単価上がるしな！  
徳永 そうなんだ！ すごい！  
結衣 ……徳永くんはさ、私が風俗で働いても気にしないんだね  
徳永 まあ、ね。意外だったけど。  
結衣 なんて？  
徳永 なんてって。そりゃ……結衣ちゃんは俺の恋人でも娘でもないから？  
結衣 ……そうか

## 第六場

徳永がゴミを外に持っていこうとすると、  
江田が疲労困憊で入ってくる

徳永 ……おかえりなさい  
江田 ただいま  
結衣 お父さんは？  
江田 ……逃げられた。  
徳永 結衣ちゃん連れてく話はいいのかな  
結衣 そーゆー人だから

徳永、ゴミを持ってでていく

江田 結衣  
結衣 なに  
江田 結婚しよう  
結衣 しないって  
江田 結衣が好きなんだ  
結衣 風俗嬢は嫌なんでしょ  
江田 俺が間違ってたって！  
結衣 いまさらなに！？  
江田 俺には、もう結衣しかないんだ。選挙にも負けて、訴えられて、日本中のマスコミに追われるんだ  
結衣 大丈夫でしょ。泡沫のあんたにだれも興味ないから  
江田 でも  
結衣 結婚はしない。あんた邪魔だから  
江田 なんだよそれ

結衣 私、立候補するから。怒りに燃えるかわいそうな女だから。来年から。  
江田 立候補！？ 結衣が！？  
結衣 そう！ 南野先生に言われた！  
江田 騙されてるよ！  
結衣 騙されてない！  
江田 じゃあ利用されてる！  
結衣 私が利用してやるの！  
江田 いいからやめとけて！  
結衣 なんですよ！  
江田 目立つの好きなタイプじゃないだろ  
結衣 金になるならなんだってやるわよ！  
江田 日本中の人に、風俗嬢ですって知られるんだぞ  
結衣 それだって利用してやるから  
江田 絶対後悔するって！  
結衣 あんたが困るだけでしょ！ 話題性でちゃうから  
江田 そうじゃなくて  
結衣 じゃあなに！  
江田 結衣が苦労しないようにって  
結衣 父ちゃんとおんなじこと言うじゃん！  
江田 いいだろ！ 好きなんだから！ 大事に思ってたんだから！  
結衣 それが迷惑だと言ってるの！  
江田 でも、俺は嫌われてでも、止めなきゃいけないんだよ！  
結衣 だからなんですよ！  
江田 お前のことを、誰よりも本気で考えてるからだよ！  
結衣 ……父ちゃんとおんなじこと言うじゃん  
江田 なんでもいいよ。お前に幸せでいて欲しいんだよ  
結衣 ……  
江田 な、立候補なんてやめよう。それこそ自分らしく生きれなくなるよ。  
結衣 自分らしく…？  
江田 そうだよ。無理して人前に立って、愛想笑いして手振って。嫌じゃないの？  
結衣 そりゃ、嫌だけど  
江田 俺がなんとかするから。ちゃんとイチからやり直すから！  
結衣 今まで私に頼り切ってたくせに  
江田 だから！ 今度は俺が全部なんとかする！ だから立候補なんてするな！ 風俗ももうや  
らなくていい  
結衣 辞めてどうするのよ！  
江田 ただ俺のそばにいてくれればいい！ 今度は俺が、どんな仕事をしてでも結衣を守る

徳永が入ってくる

徳永　　そうですね！　やっぱ江田さんはカッコいいですよ！  
江田　　ごめん、もうちょっと外で待ってて

江田、徳永を外に追いやる

結衣　　なんでそこまで言ってくれるの

江田　　なんでってそりゃ……結衣の幸せが、俺の幸せだから。

結衣　　……やっぱり結婚しない

江田　　！

結衣　　私の幸せなんて期待して欲しくない。わかんないもんそんなのだから、これが幸せって思えるように、俺が

結衣　　幸せを受け取るだけだったら、たぶん私、幸せじゃない

江田　　……俺との結婚より、風俗続けてる方がマシなのか？

結衣　　……

江田、去る。外で待ってた徳永が戻ってくる

徳永　　ダメだったか……

結衣　　……なんか、ごめんね

徳永　　いや、全然あやまることじゃないんだけど。

結衣　　ねえ、私、間違ってるかな？

徳永　　えー、わかんないよそんなの。

結衣　　来年、本当に手伝ってくれる？

徳永　　もちろん。

結衣　　よし。

結衣、片づけを手伝い始める。徳永、肘の絆創膏に気が付く

徳永　　あれ、それどうしたの？

結衣　　ん、ああ。転んだ。お店で。めっちゃ滑るのよ

徳永　　滑る……？

結衣　　でも全然。私もう、ちゃんと普通に立てるから。

結衣、ひじの絆創膏を勢いよく剥がす

おしまい